

スキャンコンバータ

SCAN CONVERTER

SC-2000

取扱説明書



Ver 3.1

ROUND

もくじ

機器を安全に正しく お使いいただくために	3 ページ
製品概要／商品構成	7 ページ
各部の名前	8 ページ
機器の接続	9 ページ
フロントパネル部による調整と設定 . . .	10 ページ
メニュー操作	11 ページ
外部コントロール端子	19 ページ
シリアル制御	20 ページ
仕様	29 ページ
外観図	31 ページ
お問い合わせ	32 ページ
製品保証	36 ページ

機器を安全に正しくお使いいただくために

安全のために必ずお守りください

★ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただくために、色々な絵表示をしています。これらの絵表示の意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性又は器物を破損する可能性が想定される内容を表示しています。

★ 絵表示の例



△ の記号は、注意（警告も含む）をうながす事項を示しています。
△ の中に、具体的な注意内容が描かれています。

(左の絵表示は、取扱の誤りにより感電する恐れがあることを意味します)



⊘ の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘ の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。

(左の絵表示は、分解禁止を意味します)



● の記号は、しなければいけない行為を示しています。
● の中に、具体的な指示内容が描かれています。

(左の絵表示は、電源コードをコンセントから抜く、という指示です)

★ 安全のために守ること

 注意

 電源は製品仕様の範囲内でご使用ください。
(機器によっては、ACアダプターを使用しますが
必ず付属のACアダプターをご使用ください。)

 異なる電源に接続すると、感電や火災の原因になることがあります。

 タコ足配線はしないでください。またアース線は絶対にガス管につながないでください。過熱・発火の原因になることがあります。

   本システム機器を、修理・分解しないでください。
火災の原因になったり、感電する恐れがあります。

  電源コードを傷つけたり加工・加熱しないでください。
また、電源コードの上に重いものを乗せないでください。
火災の原因になったり、感電する恐れがあります。

  使用中に異臭（焦げ臭いなど）がしたり、異常な音がしたら
直ちに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから
抜いてください。
そのままご使用いただくと火災の原因になります。

 電源スイッチが入ったままの状態、電源コードを抜き差し
しないでください。火災の原因になることがあります。

★ 機器の取扱いについて

 注意



本システム機器は、次の場所に設置しないでください。
故障、事故の原因になります。

- ・ 極端に高温または低温になる場所
- ・ 極端に湿度が高くなる場所
- ・ 水などがかかる恐れのある場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ ほこりの多い場所及び、周囲の環境の悪い場所
- ・ 震動する場所、水平でない場所、不安定な場所



本システム機器の上に腰掛けたり、設置上許される機材以外のものを置かないでください。
また水などをかけないでください。
故障や感電及び火災の原因になる恐れがあります。



本システム機器のコネクタには、規定のケーブル以外のものを接続しないでください。
またコネクタに異物を挿入しないでください。



本システム機器はベンジン、シンナーなどの薬品で拭かないでください。変形・変色することがあります。



本システム機器は人命に関わる設備や機器、又は高度な信頼性を必要とする設備や機器への使用及び組込んでの使用を意図としておりません。

これらの設備や機器に本システム機器をご使用され、本システム機器の故障により、事故、火災、損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

★ 設置作業について

 注意

-  機器の設置を行うときは、必ず電源コードを抜いてください。
-  必ずアース処理を行ってください。
-  メンテナンス性を考慮し、ケーブル類は機器が十分引き出せる余裕を持って設置してください。
-  コード類の折り曲げによる断線に注意してください。
-  機器類は熱を発生します。本体側部及び、上部に十分な空間が確保できるように設置してください。

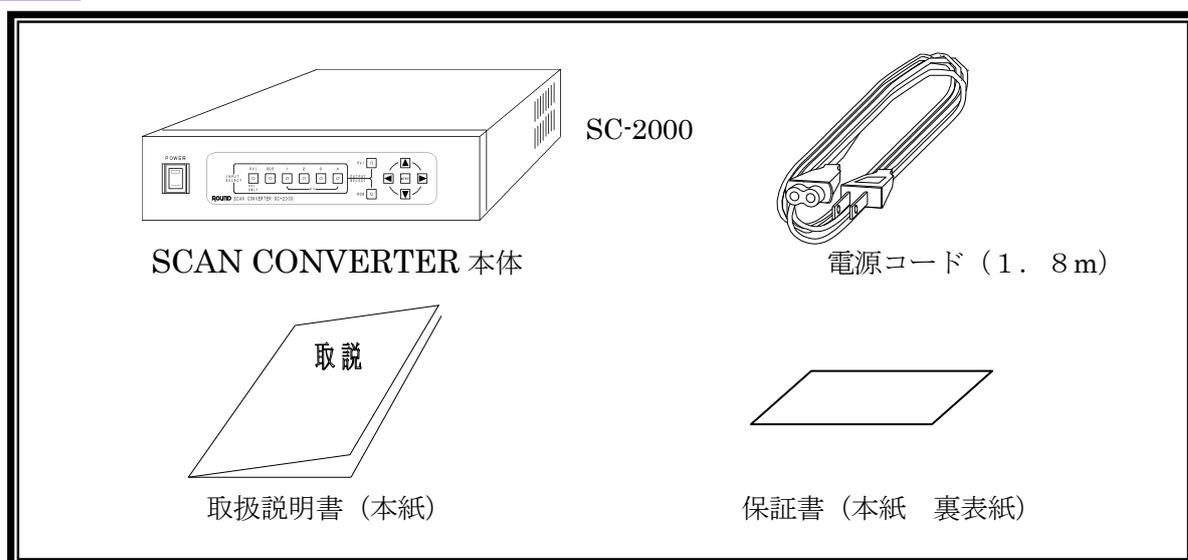
★ 免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

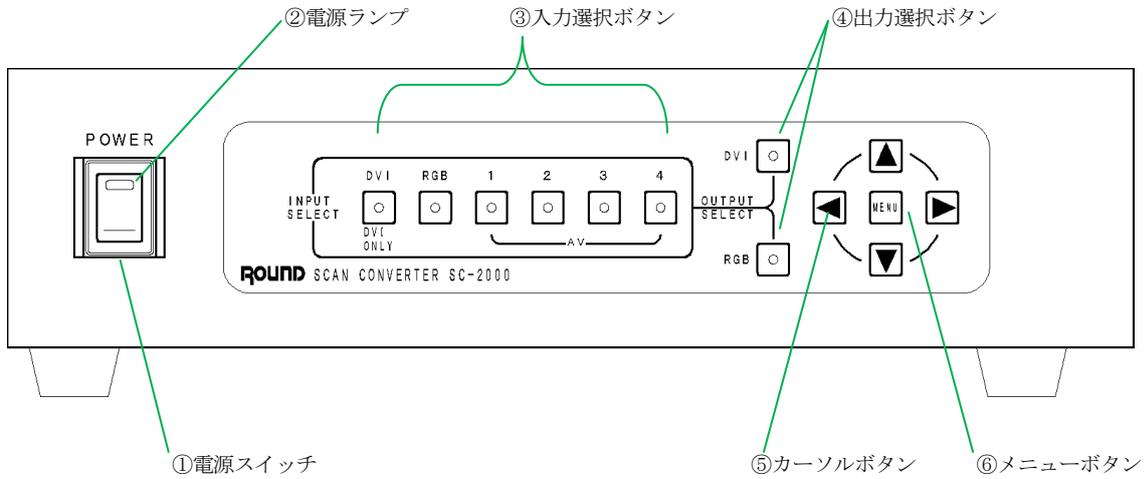
製品概要

- SCAN CONVERTER SC-2000 (以下、本体)はビデオ画像をパソコン用ディスプレイに表示できる信号 (解像度) に変換する機器です。
- 入力できる映像信号
 - コンポーネント入力 (D端子)・・・D1、D2、D3、D4
 - ビデオ入力・・・NTSC/PAL
 - アナログRGB・・・仕様参照 (28 ページ)
 - デジタルRGB・・・仕様参照 (28 ページ)
- 出力できる映像信号 (解像度)
 - 640×480 (VGA60)、800×600 (SVGA60)、1024×768 (XGA60)、
 - 1280×1024 (SXGA60)、1600×1200 (UXGA60)、
 - 1280×720 (HD 60)、1360×768 (WXGA60)、1366×768 (FWXGA 60)、
 - 1440×900 (WXGA+60)、1600×900 (HD+60)、
 - 1680×1050 (WSXGA+60)、1920×1200 (WUXGA60CVT)、
 - 1920×1080i (HDTV)、1920×1080p (HDTV) の 14 種類です。
- 音声も同様に選択する機能も備えておりますので、マルチメディアに対応した環境でのご使用にも十分にご満足いただけます。
- 接続されるディスプレイのプラグアンドプレイ信号は DVI-I IN ⇒ DVI-I OUT 間 , RGB IN⇒RGB OUT 間で接続しておりますのでお手元のディスプレイの性能を 100%お使いいただけます。
(本体のプラグアンドプレイは対応しておりません)
(DVI 接続の HDCP には対応しておりません)

商品構成

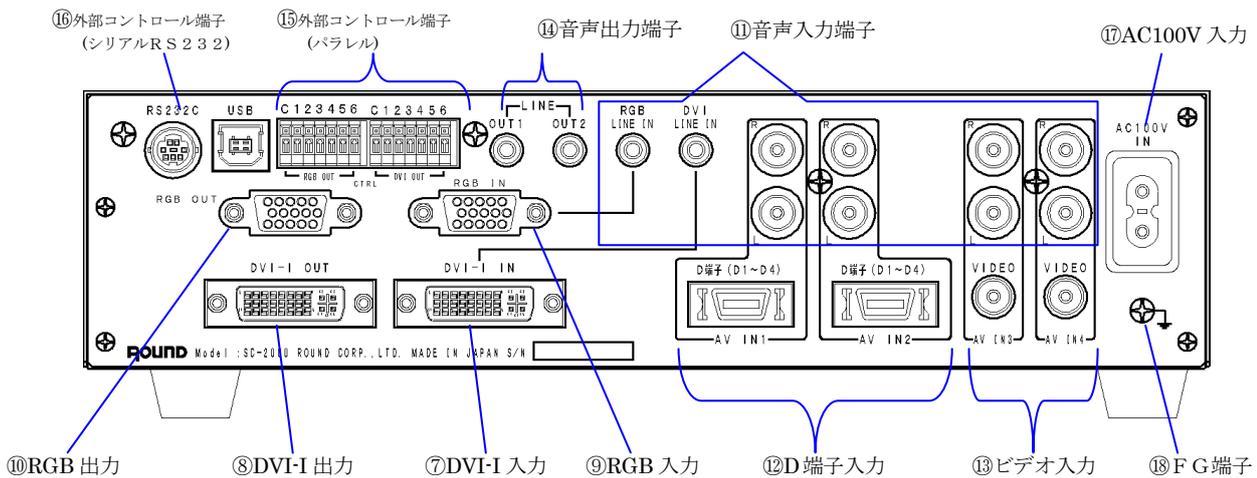


各部の名前
フロントパネル



- ① 電源スイッチ・・・電源の ON/OFF ができます。
- ② 電源ランプ・・・電源 ON で点灯します。
- ③ 入力選択ボタン・・・DVI・RGB・AV 1～4 入力を選択します。
- ④ 出力選択ボタン・・・DVI 又は RGB を選択します。
- ⑤ カーソルボタン・・・上下左右の 4 方向あります。
- ⑥ MENUボタン・・・メニューを表示します。

リアパネル



注意：USB端子はオプションとなります。

- ⑦ DVI-I 入力端子 DVI-I DVI-D DVI-A 出力からのケーブルを接続します。
- ⑧ DVI-I 出力端子 デジタルディスプレイに接続します。
- ⑨ RGB 入力端子 RGB 出力からのケーブルを接続します。
- ⑩ RGB 出力端子 アナログ RGB ディスプレイに接続します。
- ⑪ 音声入力端子 各画像に対応した LINE 出力からのケーブルを接続します。
- ⑫ D 端子入力 AV1 又は AV2 には D 端子出力からのケーブルを接続します。
- ⑬ ビデオ入力端子 AV3 又は AV4 にビデオ端子出力からのケーブルを接続します。
- ⑭ 音声出力端子 OUT1 には DVI-I OUT、OUT2 には RGB OUT の
音声が出力されます。
- ⑮ 外部コントロール端子・外部切り替えスイッチにてコントロールする場合に接続します。
(接点)
- ⑯ 外部コントロール端子・RS232Cにてコントロールする場合に接続します。
- ⑰ AC100V 入力 AC100V に付属ケーブルで接続します。
- ⑱ FG FG 端子です。

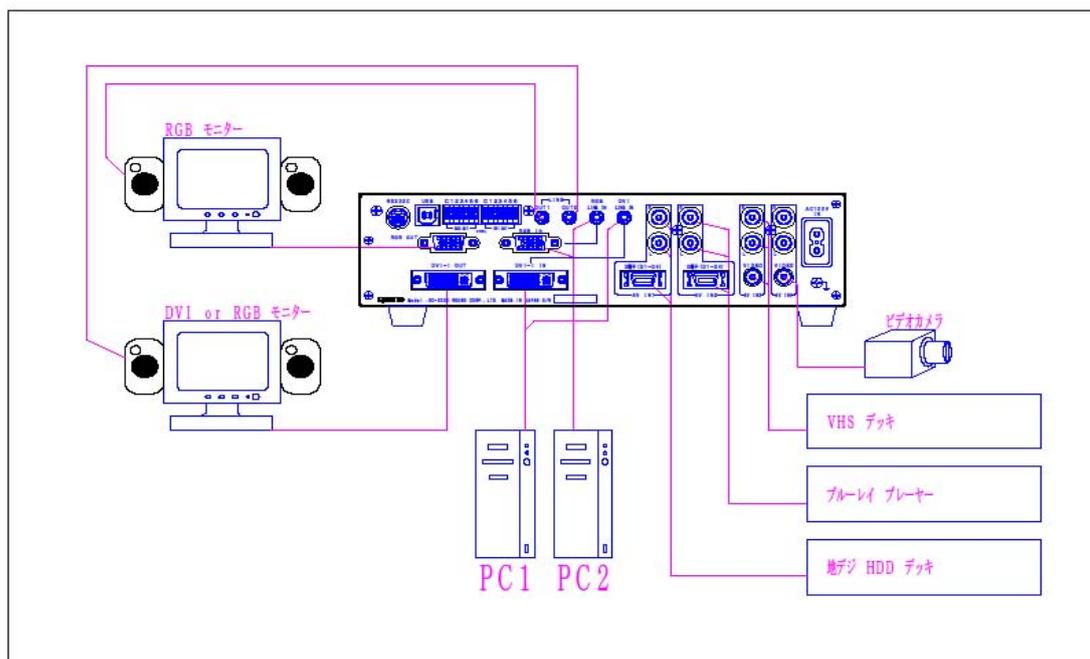
**注意 1 : DVI-I IN に入力された映像は DVI-I OUT に接続される
ディスプレイにより DVI-D or DVI-A (アナログ RGB) が
決定されます。(EDID にて決定)**

**注意 2 : D 端子入力の場合は自動にて D 1 ~ D 4 が選択されます。
(再生装置側の設定に依存します)**

注意 3 : 市販 DVD 再生の場合は D 2 のみ再生可能です。

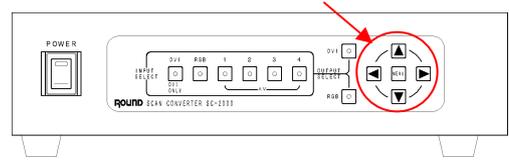
注意 4 : DVI-D 接続の場合、HDCP には未対応です。

機器の接続 (参考) . . . 画像のみ、又は音声のみでの運用も可能です!



フロントパネル部による設定と調整

●本体フロントパネル部の **MENU** ボタン、**▲▼◀▶** ボタンでシステム設定や画像調整、表示設定ができます。



ダイレクト操作 (メニュー表示が無い状態)

コントラスト&ブライト **個別画面設定** DVI、RGB 入力は設定できません。

▲▼にて表示画像の自動：手動 及び コントラストとブライトの調整メニューが表示されます

- (1) **自動** 入力画像に応じて 自動調整されます。
 ……D端子入力のための機能です
- (2) **手動** ブライト、コントラストの手動調整が可能です
 ……D端子入力のための機能です
- (3) **ブライト** (明るさ調整) **個別設定**
 画像の明るさを調整できます。
 可変範囲：0～100
初期値：D端子→10 ビデオ→50
- (4) **コントラスト** (コントラスト調整) **個別設定**
 画像のコントラストを調整できます。
 可変範囲：0～100
初期値：D端子→20 ビデオ→50



◀▶ ボタンにて調整できます。

MENU ボタンにて戻ります。調整メニューも**非表示**となります。

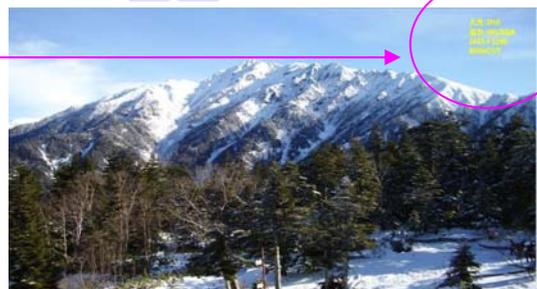
解像度の変更 **個別画面設定**

◀▶にて表示解像度を変更できます。(初期値は1280×1024 60Hzです)

VGA (60) 640×480	⇔	SVGA (60) 800×600	⇔	XGA (60) 1024×768	⇔	SXGA (60) 1280×1024	⇔	UXGA (60) 1600×1200	⇔	H D (7 2 0 p) 1280×720	⇔	WXGA (60) 1360×768	
⇔	FWXGA (6 0) 1366×768	⇔	WXGA+ (60) 1440×900	⇔	H D + (6 0) 1600×900	⇔	WSXGA+ (60) 1680×1050	⇔	WUXGA (60CVT) 1920×1200	⇔	1920×1080i	⇔	HDTV1080p 1920×1080p

14種類の選択を左右のカーソルにて切替えられます。(低解像度 **◀▶** 高解像度)

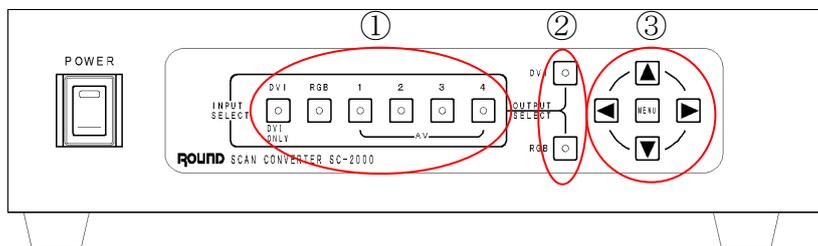
解像度確認表示



注意

- (1) OSD 設定が「無し」の場合は表示されません。
- (2) 接続されているディスプレイの表示可能解像度以外は表示されませんのでご注意ください。

メニューによる操作



TOP MENU

- ①調整したい入力画像を選択します。
- ②調整したい出力画像を選択します。
- ③ **MENU** ボタンを押すとディスプレイに設定項目が表示されます。
- ④各項目への移動は上下の ▲▼ にて行います。
(操作をしない場合は、10秒後に非表示になります)
- ⑤各メニューに記載している操作にて選択、決定を行います。



◇ 上記の8項目が設定可能です。

重要！！

8項目のうち **入力信号 選択&確認** **OSD設定** **システム設定** **初期化** は
本体全ての設定項目になりますので、ご注意ください。

入力信号 選択&確認 全体設定

RGB OUT入力選択

フロントパネルにて「OUTPUT SELECT」にて「RGB」を選択している場合に「INPUT SELECT」にて選択できるRGB入力の選択を行います。

- ◀▶にて変更項目を選択します。
- ▲▼にて入力選択を行います。
- MENUにて決定します。

(1) RGB IN入力

RGB IN（高密度15P）に接続している画像を有効にします。

(2) DVI-A (RGB) 入力

DVI-Iに接続しているアナログRGB画像を有効にします。



D端子1入力

D端子2入力

各入力に接続されたD端子画像の自動判別を行い判別結果を表示します。

判断結果は D1、D2、D3、D4、—（入力無し 又は 検出不可）

注意：選択された入力画像のみ判断できます。

出力解像度設定 個別画面設定

VGA (60) 640×480	SVGA (60) 800×600	XGA (60) 1024×768	SXGA (60) 1280×1024	UXGA (60) 1600×1200	HD (720p) 1280×720	WXGA (60) 1360×768
FWXGA (60) 1366×768	WXGA+ (60) 1440×900	HD+ (60) 1600×900	WSXGA+ (60) 1680×1050	WUXGA (60CVT) 1920×1200	1920×1080i HDTV1080i	1920×1080p HDTV1080p

- ▲ ▼にて選択を行います。
- ◀ ▶にて項目を選択します。
- ▶にて決定します。

注意：接続されているモニターには表示できない解像度を選択した場合は、15秒後に元の解像度に戻りますので、操作をせずにお待ちください。

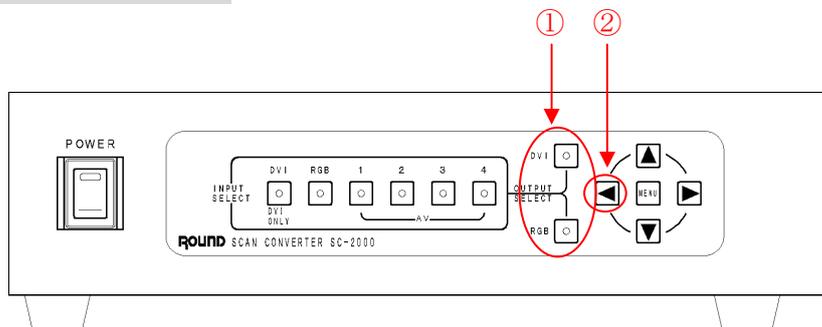


- ▲ ▼にて選択を行います。
- MENUにて決定します。

注意：確定を選択されないと15秒後に元の解像度に戻ります。



ワンポイント！！
誤って解像度を設定した場合は電源を再投入して5秒以上待ってからフロントパネルの
① OUTPUTセレクトを選択してから
② 左カーソルをゆっくり数回押してください。
■ 低解像度に移行します



■ 左カーソルを押しても「ピィ」音がしなくなれば
VGA 640×480 (60Hz) が出力されています。

画像位置調整 個別画面設定

取り込み水平位置 (入力画像水平位置調整)

入力画像の水平方向の位置を調整できます。
可変範囲：-20～+20 (ドット)

初期値：0

取り込み垂直位置 (入力画像垂直位置調整)

入力画像の垂直方向の位置を調整できます。
可変範囲：-10～+10 (ライン)

初期値：0



▲▼にて選択を行います。◀▶にて調整します。MENUにて戻ります。

水平位置 (出力画像水平位置調整)

出力画像の水平方向の位置を調整できます。
可変範囲：-20～+20 (ドット)

初期値：0

垂直位置 (出力画像垂直位置調整)

出力画像の垂直方向の位置を調整できます。
可変範囲：-10～+10 (ライン)

初期値：0

▲▼にて選択を行います。◀▶にて調整します。MENUにて戻ります。

ノイズリダクション 及び 動き補正 個別画面設定

ノイズリダクション

ノイズが多い入力画像 (ビデオデッキ等) に対してノイズを軽減する様に設定しております。不適切な場合は変更してください。

初期値：無し

動き補正

動き補正の設定を行います。
静止画像を入力される場合は静止画にしてください。
動き補正を動画にした場合は画像が若干ぼやけます。

初期値：静止画+動画



▲▼にて選択を行います。◀▶にて項目を選択します。MENUにて決定します。

●動き補正は入力信号が ビデオ、D1、D3の場合のみ有効です。

OSD & ガイドライン設定

CH表示 全体設定

入出力の解像度を右上に表示する方法を設定をいたします。

初期値：ON

◀▶にて機能選択を行います。
MENUにて決定します。



ガイドライン表示 個別画面設定

出力画像の外周に白枠表示の設定をいたします。

初期値：10秒

◀▶にて機能選択を行います。
MENUにて決定します。



システム設定 **全体設定**

CH記憶

電源OFF時の入力チャンネル選択の記憶設定ができます。

初期値：する

制御信号

リアパネルにあるコントロール端子（パラレル）の入力信号を判断する方法を選択できます。

初期値：エッジ

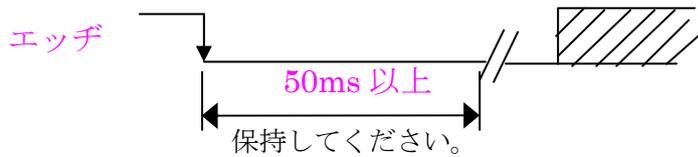


● レベルを選択した場合は、フロントパネルの上下左右カーソル、MENU以外は操作できません。

エッジとは！

入力信号の立下りエッジにて認識します。
 プッシュボタンなどによる切り替え時に選択してください。

● 接続例は17ページ参照



レベルとは！

入力信号がLOWレベルにて認識します。
 ロータリースイッチなどによる切り替え時に選択してください。



シリアル通信ボーレート

シリアル通信（RS232C）のボーレートを変更できます。

初期値：9600bps

注意

その他のパラメータ
 (data 8 BIT Stop 1 BIT パリティ無し)
 は変更できません。

- ▲ ▼にて選択を行います。
- ◀ ▶にて項目を選択します。
- MENUにて決定します。



ボーダー色設定 個別画面設定

出力画像に対して有効画像領域が小さい場合に背景に表示する色を指定します。

注意

選択した入力画像がない場合もこの設定値の色が表示されます。

RED

赤色の調整が行えます。

初期値：128

GREEN

緑色の調整が行えます。

初期値：128

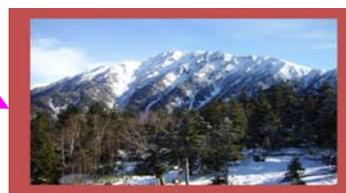
BLUE

青色の調整が行えます。

初期値：128



ボーダー部



▲▼にて選択を行います。◀▶にて調整します。MENUにて戻ります。

初期化 全体設定

全ての設定を出荷状態の初期値に戻します。
(出荷状態に戻す)

注意

この項目は、個別選択の設定項目が全て初期値に戻りますので十分注意してください。
一度、実行すると設定データはすべてクリアされ、元には戻りません。

▲▼にて選択を行います。MENUにて決定します。



適正な信号でないため判断できません

全体

入力画像に関して 自動認識を行っておりますが規格外の信号、著しく乱れた信号が接続された場合は、右記の画面表示となります。

この場合は、入力画像信号の確認をお願いします。

SC-2000 が自動判断できる入力画像は下記となります。



入力可能な解像度

D 端子入力・・・

720×480 D 1 (480 i)	720×480 D 2 (480 p)	1920×1080 i D 3 (1080 i)	1280×720 D 4 (720 p)
------------------------	------------------------	-----------------------------	-------------------------

ビデオ入力・・・

720×480 NTSC-J	720×480 NTSC-M	720×480 NTSC-4.43	720×480 PAL-M	720×480 PAL-60
-------------------	-------------------	----------------------	------------------	-------------------

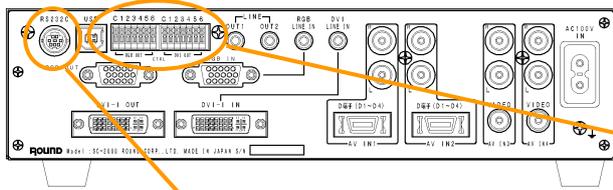
DVI-D 入力・・・

VGA (60) 640×480	SVGA (60) 800×600	XGA (60) 1024×768	SXGA (60) 1280×1024	UXGA (60) 1600×1200	
HD (720p) 1280×720	WXGA (60) 1360×768	FWXGA (60) 1366×768	WXGA+ (60) 1440×900	HD+ (60) 1600×900	WSXGA+ (60) 1680×1050
WUXGA (60CVT) 1920×1200	1920×1080i HDTV1080i	1920×1080p HDTV1080p			

RGB 入力・・・
(DVI-A も同じ)

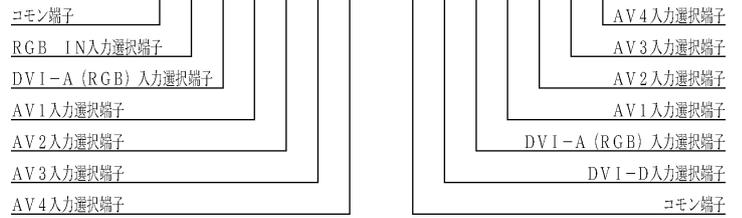
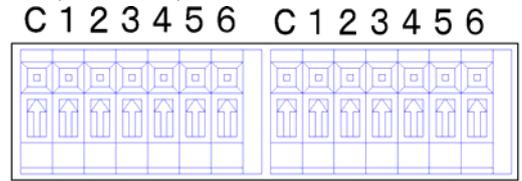
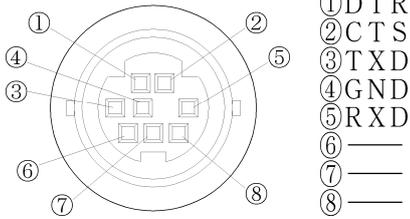
VGA (60) 640×480	SVGA (60) 800×600	XGA (60) 1024×768	SXGA (60) 1280×1024
---------------------	----------------------	----------------------	------------------------

外部コントロール端子



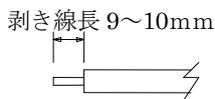
注意：USB接続に関しては
オプションとなります
CTRL (パラレル)

RS-232C



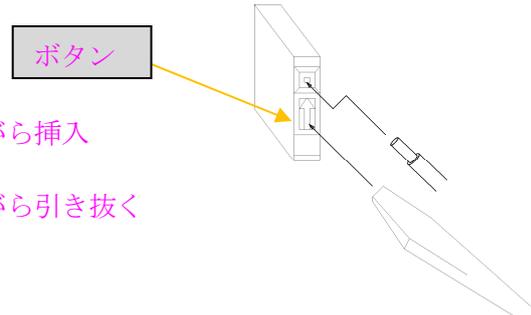
パラレル制御・・・外部にスイッチなどの接点により切り替えを行う

使用電線の詳細

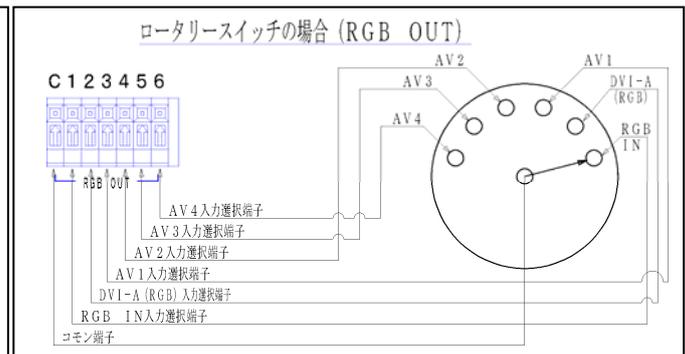
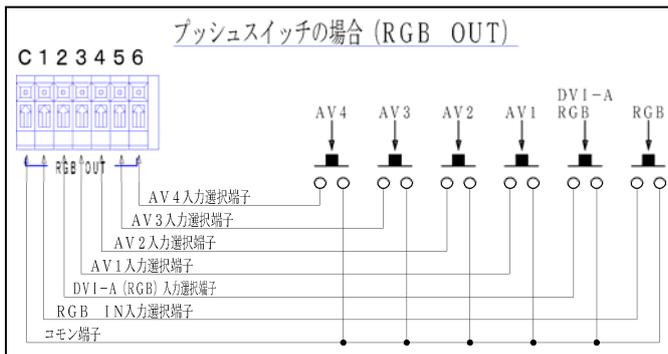


使用線材
単線：φ 0.65 (AWG28) ~ φ 0.65 (AWG22)
撚線：0.08 mm (AWG28) ~ 0.32 mm (AWG22)

接続
ボタンを押しながら挿入
解除
ボタンを押しながら引き抜く



接続例



エッジ接続の参考

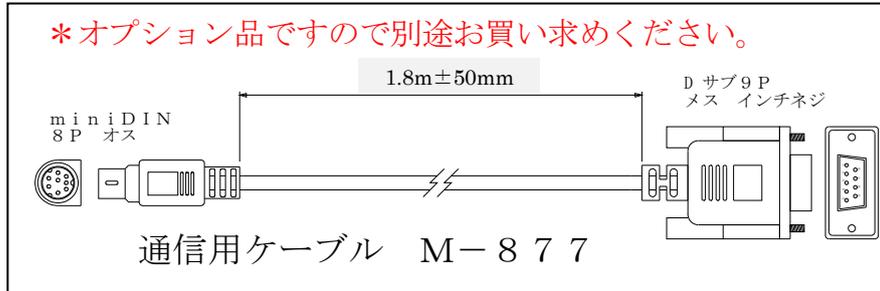
レベル接続の参考

注意

プッシュスイッチで同時に押された場合は番号の小さい入力が優先されます。
プッシュスイッチの ON 時間は 50ms 以上保持が必要です。
ロータリースイッチの場合はノンショーティング品をお使いください。
接続ラインは他の機器につながらないようにしてください。

シリアル制御・・・シリアル通信コマンドにて切り替えを行う

下記の通信ケーブル (M-877) にてパソコン (シリアル通信ができる装置) と SC-2000 を接続してコマンドによりコントロールします。



入力選択制御 (RS232C) コマンド詳細

*コマンドはすべて ASCII 文字

通信条件 : 9600bps (メニューにて変更可能)

data 8, stop 1 パリティ無し コマンド区切り CRLF

機能	コマンド	説明
入出力制御 画像/音声 同時切替	>XT:p1,p2	<p>入出力コネクタを選択することができます。</p> <p>パラメータ : p1・・・出力コネクタ 0 1 : DVI-I OUT (LINE OUT 2) 0 2 : RGB OUT (LINE OUT 1)</p> <p>パラメータ : p2・・・入力コネクタ 0 0 : 選択無し (ボーダー色) 1 1 : AV 1 1 2 : AV 2 1 3 : AV 3 1 4 : AV 4 0 1 : DVI-D (デジタル) *注1 0 2 : RGB IN *注2 0 3 : DVI-A (アナログ)</p> <p>例 : RGB OUT に AV 3 入力を表示する場合。 >XT:02,13(CRLF)</p> <p>注1 : 出力コネクタ 0 2 : RGB OUT 選択時は不可 注2 : 出力コネクタ 0 1 : DVI-I OUT 選択は不可</p>

機能	コマンド	説明
出力解像度の設定	>OR:p1, p2, p3	<p>出力の解像度変更ができます。</p> <p>パラメータ : p1・・・出力コネクタ 0 1 : DVI-I OUT 0 2 : RGB OUT</p> <p>パラメータ : p2・・・出力解像度 01 : VGA (640×480 60Hz) 02 : SVGA (800×600 60Hz) 03 : XGA (1024×768 60Hz) 04 : SXGA (1280×1024 60Hz) 05 : UXGA (1600×1200 60Hz) 06 : HD (1280×720 60Hz) 07 : WXGA (1360×768 60Hz) 08 : FWXGA (1366×768 60Hz) 09 : WXGA+ (1440×900 60Hz) 10 : HD+ (1600×900 60Hz) 11 : WSXGA+ (1680×1050 60Hz) 12 : WUXGA (1920×1200 60Hz) 13 : HD1080i (1920×1080i 60Hz) 14 : HD1080p (1920×1080p 60Hz)</p> <p>パラメータ : >p3・・・DVI、RGB スルー出力 0 0 : 入力をDVI/RGB選択した場合のみ 入出力同じ解像度となります。 0 1 : p2にて指定した解像度にて出力</p> <p>例 : DVI-I出力をUXGA に設定する場合。 >OR:01, 05, 01 (CRLF)</p>

機能	コマンド	説明
<p>ブライ ト調整 (輝度)</p> <p>RGB入力 DVI入力 に関しては 変更できません</p>	<p>>VB:p1,p2</p>	<p>画像のブライ ト(輝度値)を調整 できます。</p> <p>パラメータ:p1・・・出力コネクタ選 択 01:DVI-I OUT 02:RGB OUT</p> <p>パラメータ:p2・・・ブライ ト値 設定 0~100%</p> <p>例:RGB出力をブライ ト値70%にする 場合。 >VB:02,70(CRLF)</p> <p>注意:現在表示さ れている入出力組 合せに対して調整 します。</p>
<p>コント ラスト 調整</p> <p>RGB入力 DVI入力 に関しては 変更できません</p>	<p>>VC:p1,p2</p>	<p>画像のコント ラストを調整 できます。</p> <p>パラメータ:p1・・・出力コネクタ選 択 01:DVI-I OUT 02:RGB OUT</p> <p>パラメータ:p2・・・コ ントラスト値 設 定 0~100%</p> <p>例:DVI出力をコ ントラスト値100 %にする場合。 >VC:01,100(CRLF)</p> <p>注意:現在表示さ れている入出力組 合せに対して調整 します。</p>

機能	コマンド	説明
<p>取り込み 水平位置 調整</p> <p>DVI デジタル 入力は設定 出来ません。</p>	<p>>PH:p1, p2</p>	<p>入力画像の取り込み水平位置を調整できます。</p> <p>パラメータ：p1・・・出力コネクタ選択 01：DVI -I OUT (アナログ時のみ) 02：RGB OUT</p> <p>パラメータ：p2・・・水平位置 設定 -20 (左へ)～+20 (右へ) dot</p> <p>例：RGB出力の位置を左に5 dot 移動する場合。 >PH:02, -5 (GRLF)</p> <p>注意：現在表示されている入出力組合せに対して調整します。</p>
<p>取り込み 垂直位置 調整</p> <p>DVI デジタル 入力は設定 出来ません。</p>	<p>>PV:p1, p2</p>	<p>入力画像の取り込み垂直位置を調整できます。</p> <p>パラメータ：p1・・・出力コネクタ選択 01：DVI -I OUT (アナログ時のみ) 02：RGB OUT</p> <p>パラメータ：p2・・・垂直位置 設定 -10 (上へ)～+10 (下へ) LINE</p> <p>例：RGB出力の位置を下に3 LINE 移動する場合。 >PV:02, +3 (GRLF)</p> <p>注意：現在表示されている入出力組合せに対して調整します。</p>

<p>水平位置調整</p> <p>DVI デジタル出力は設定出来ません。</p>	<p>>AOH:p1, p2</p>	<p>出力画像の水平位置を調整できます。</p> <p>パラメータ : p1・・・出力コネクタ選択 0 1 : DVI -I OUT (アナログ時のみ) 0 2 : RGB OUT</p> <p>パラメータ : p2・・・水平位置 設定 - 2 0 (左へ) ~ + 2 0 (右へ) d o t</p> <p>例 : R G B 出力の位置を左に 5 d o t 移動する場合。 >AOH:02, -5 (CRLF)</p> <p>注意 : 現在表示されている入出力組合せに対して調整します。</p>
<p>垂直位置調整</p> <p>DVI デジタル出力は設定出来ません。</p>	<p>>AOV:p1, p2</p>	<p>出力画像の垂直位置を調整できます。</p> <p>パラメータ : p1・・・出力コネクタ選択 0 1 : DVI -I OUT (アナログ時のみ) 0 2 : RGB OUT</p> <p>パラメータ : p2・・・垂直位置 設定 - 1 0 (上へ) ~ + 1 0 (下へ) L I N E</p> <p>例 : R G B 出力の位置を下に 3 L I N E 移動する場合。 >AOV:02, +3 (CRLF)</p> <p>注意 : 現在表示されている入出力組合せに対して調整します。</p>

機能	コマンド	説明
<p>ノイズ リダクション の設定</p>	<p>>VA:p1, p2</p>	<p>出力画像に対してノイズリダクション の設定ができます。</p> <p>パラメータ : p1・・・出力コネクタ 0 1 : DVI-I OUT 0 2 : RGB OUT</p> <p>パラメータ : p2・・・ノイズリダクションレベル 0 0 : なし 0 1 : 弱 0 2 : 中 0 3 : 強</p> <p>例 : DVI-I出力を 「中」 に設定する場合。 >VA:01, 02 (CRLF)</p> <p>注意 : 現在表示されている入出力組合せに対して調整します。</p>
<p>動き補正 設定</p>	<p>>VM:p1, p2</p>	<p>出力画像に対して動き補正 の設定ができます。</p> <p>パラメータ : p1・・・出力コネクタ 0 1 : DVI-I OUT 0 2 : RGB OUT</p> <p>パラメータ : p2・・・動き補正レベル 0 0 : 静止画 0 1 : 静止画+動画 0 2 : 動画</p> <p>例 : RGB出力を 「静止画」 に設定する場合。 >VM:02, 00 (CRLF)</p> <p>注意 : 現在表示されている入出力組合せに対して調整します。</p>

機能	コマンド	説明
OSDの表示時間設定	>SD:p1	<p>画面の右上に表示されるOSDの表示時間を設定できます。</p> <p>パラメータ：p1・・・表示時間（秒） 00：表示しない 01～90：表示時間（秒） 99：常時表示</p> <p>例：表示時間を20秒に設定する場合。 >SD:20(CRLF)</p> <p>注意：DVI-I OUT/RGB OUT 共通設定となります。</p>
ガイドラインの表示時間設定	>MW:p1, p2	<p>出力画像の外周に表示されるガイドラインの表示を設定できます。</p> <p>パラメータ：p1・・・出力コネクタ 01：DVI-I OUT 02：RGB OUT</p> <p>パラメータ：p2・・・表示スイッチ 00：非表示 01：表示</p> <p>例：RGB出力にガイドラインを表示する。 >MW:02, 01(CRLF)</p> <p>注意：DVI-I OUT/RGB OUT の個別設定となります。</p>
チャンネル記憶	>SM:p1	<p>電源OFF時の入出力選択の記憶設定ができます。</p> <p>パラメータ：p1・・・設定値 00：電源入力時はいつもAVIを選択 01：最後に選択された入力を記憶する</p> <p>例：チャンネル記憶を保存しない場合。 >SM:00(CRLF)</p> <p>注意：SC-2000 システムの設定となります。</p>

機能	コマンド	説明
<p>制御信号</p> <p>外部 コントロール 設定</p>	<p>>SP:p1</p>	<p>リアパネルにあるコントロール端子の 入力信号判断方法を設定できます。</p> <p>パラメータ：p1・・・設定値 00：エッジ 01：レベル</p> <p>例：判断方法をレベルに設定する場合。 >SP:01 (CRLF)</p> <p>注意：SC-2000 システムの設定となります。</p>
<p>ボーダーカラー の設定</p>	<p>>SB:p1, p2, p3, p4</p>	<p>出力画像に対して有効画像が小さい場合の 隙間部分のカラーを設定します。 入力信号がない場合も同じカラーとなります。</p> <p>パラメータ：p1・・・出力コネクタ 01：DVI-I OUT 02：RGB OUT</p> <p>パラメータ：p2・・・R（赤）輝度レベル設定 0～255：</p> <p>パラメータ：p3・・・G（緑）輝度レベル設定 0～255：</p> <p>パラメータ：p4・・・B（青）輝度レベル設定 0～255：</p> <p>例：RGB OUTのボーダーカラーをブルーバックにする場合。 >SB:02, 0, 0, 255 (CRLF)</p> <p>注意：DVI-I OUT/RGB OUT の個別設定となります。</p>

機能	コマンド	説明
通信速度 の設定	>SR:p1	<p>シリアル通信 (RS232C) のボーレートを 変更できます。</p> <p>パラメータ : p1・・・ボーレート設定値 0 0 : 2400 bps 0 1 : 4800 bps 0 2 : 9600 bps 0 3 : 19200 bps 0 4 : 38400 bps</p> <p>例 : ボーレートを 3 8 4 0 0 bpsに変更する。 >SR:04 (CRLF)</p> <p>注意 : このコマンドを発行すると、以後の通信は 変更されたボーレートでの通信が有効になります。 送信側のボーレートを変更されないままでの 通信はできません。</p> <p>誤って設定した場合はフロントパネルのMENUより、 設定変更を行ってください。</p>
設定値初期化 出荷状態に 戻す	>RST:99	<p>全ての設定を出荷状態に戻します。</p> <p>>RST:99 (CRLF) にて実行されます。</p> <p>注意 : このコマンドを実行した場合は、全ての 設定値が初期化され、工場出荷状態になります。</p> <p>このため、通信ボーレートも 9 6 0 0 bpsとなり ボーレートを変更して運用していた場合は 通信ができなくなります。</p> <p>この場合は必ず、ボーレートの設定をして下さい。 通信にて設定される場合は、9 6 0 0 bpsにて 行うか、又はフロントパネルのMENUより 設定変更を行ってください。</p>

仕様

■ コンポーネント入力 (D端子)

- コンポーネント入力コネクタ・・・D端子 (D1、D2、D3、D4)
- Y入力信号レベル：700mV (75Ω負荷)
(同期信号：300mV (Yに重畳))
- Pb入力信号レベル：350mV (75Ω負荷)
- Pr入力信号レベル：350mV (75Ω負荷)
- 入力解像度・・・D1(480i) D2(480p) D3(1080i) D4(720p)

■ ビデオ入力

- ビデオ入力コネクタ・・・RCAピンジャック
- ビデオ入力信号レベル・・・1V P-P (75Ω負荷)
- 入力解像度・・・NTSC、PAL

■ RGB画像入出力 (アナログ) (DVI-A入力も含む)

- 入出力コネクタ・・・高密度Dサブコネクタ15極 (ソケット)
- 入力信号レベル・・・RGB：0.7V P-P (75Ω負荷)
HD/VD：TTLレベル (2KΩ負荷)
- 出力信号レベル・・・入力レベルと同じ
- 入力解像度・・・640×480(VGA 60) 800×600(SVGA 60)
1024×768(XGA 60) 1280×1024(SXGA 60)

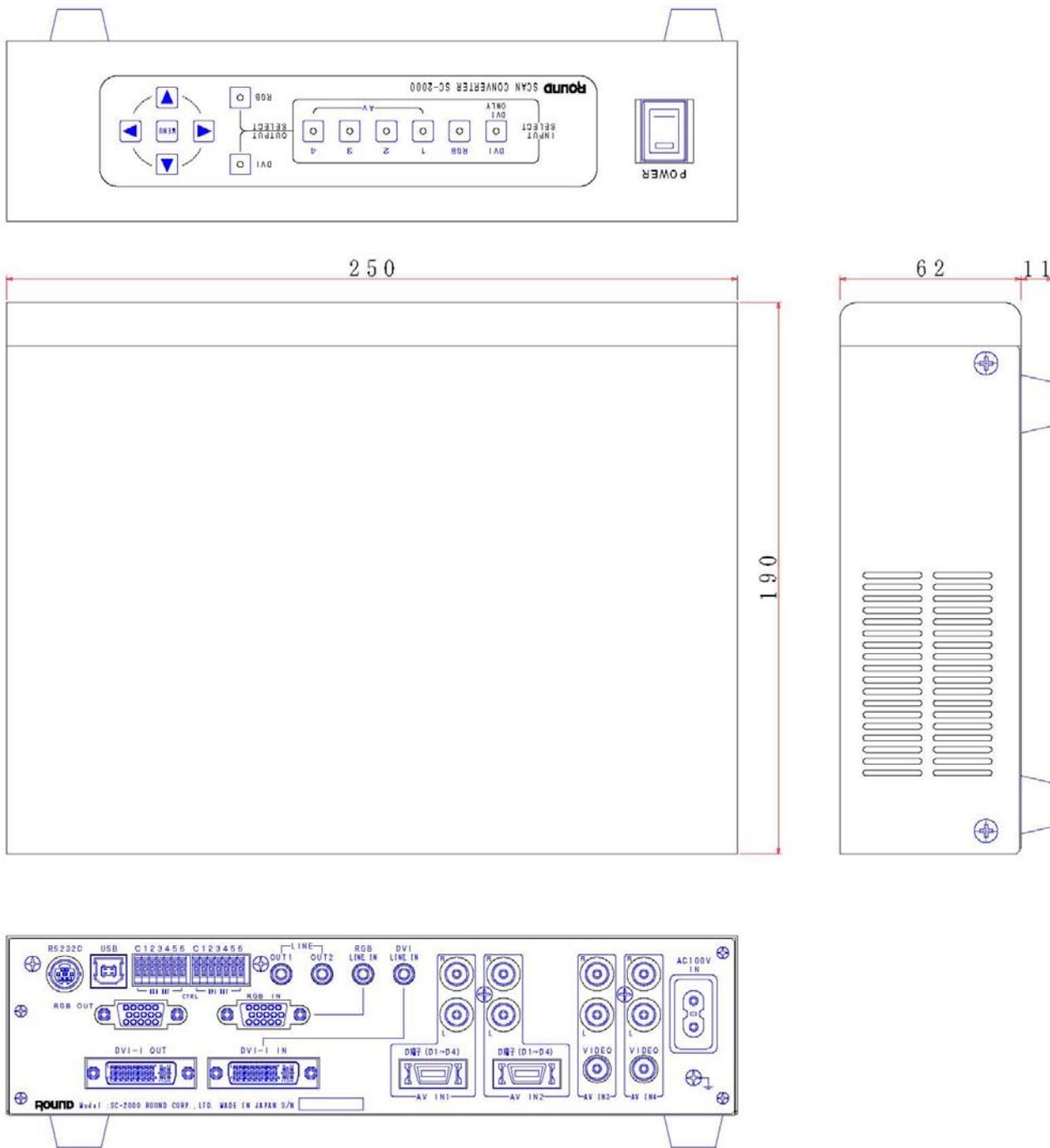
- 出力解像度・・・640×480(VGA 60) 800×600(SVGA 60)
1024×768(XGA 60) 1280×1024(SXGA60)
1600×1200(UXGA 60) 1280×720(HD 60)
1360×768(WXGA 60) 1366×768(FWXGA 60)
1440×900(WXGA+ 60) 1600×900(HD+60)
1680×1050(WSXGA+ 60) 1920×1200(WUXGA 60CVT)
HDTV1080i、HDTV1080p

注意：本体電源を投入していない場合、出力画像は表示されません。

■ DVI-D画像入出力 (デジタル) 注意：HDCP非対応

- 入出力コネクタ・・・DVI (Digital Visual Interface) 規格 (ソケット)
デジタル/アナログ共用タイプ
- 入力信号・・・DVI(1.0)：シングルリンク
- 出力信号・・・入力信号と同じ
- 入力解像度・・・640×480(VGA 60) 800×600(SVGA 60)
1024×768(XGA 60) 1280×1024(SXGA 60)
1600×1200(UXGA 60) 1280×720(HD 60)
1360×768(WXGA 60) 1366×768(FWXGA 60)
1440×900(WXGA+ 60) 1600×900(HD+60)
1680×1050(WSXGA+ 60) 1600×1200(WUXGA60)
1920×1080 (Full HD 60)

外觀圖



製品保証

- 本製品の保証期間はお買上げより1年間有効です。
- 保証規定については保証書に記載してあります。
- 保証書は、大切に保管してください。お問い合わせ時に必要な場合があります。
- 保証期間を経過した製品の保守、修理などは有償とさせていただきます。

お問い合わせ

- 製品のご購入や製品に関するご質問は下記までお問い合わせください。

製品および各種見積お問合せ営業時間
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
10:00～17:45

- メールでお問い合わせいただく場合

貴社名、部署名、ご氏名、ご質問内容をご記入の上、お送りください。
ご記入内容を確認の上、メールでご回答申し上げます。

製品販売に関するお問合せ sales@round.ne.jp

製品技術に関するお問合せ tech@round.ne.jp

上記以外に関するお問合せ round@round.ne.jp

- お電話でお問い合わせいただく場合

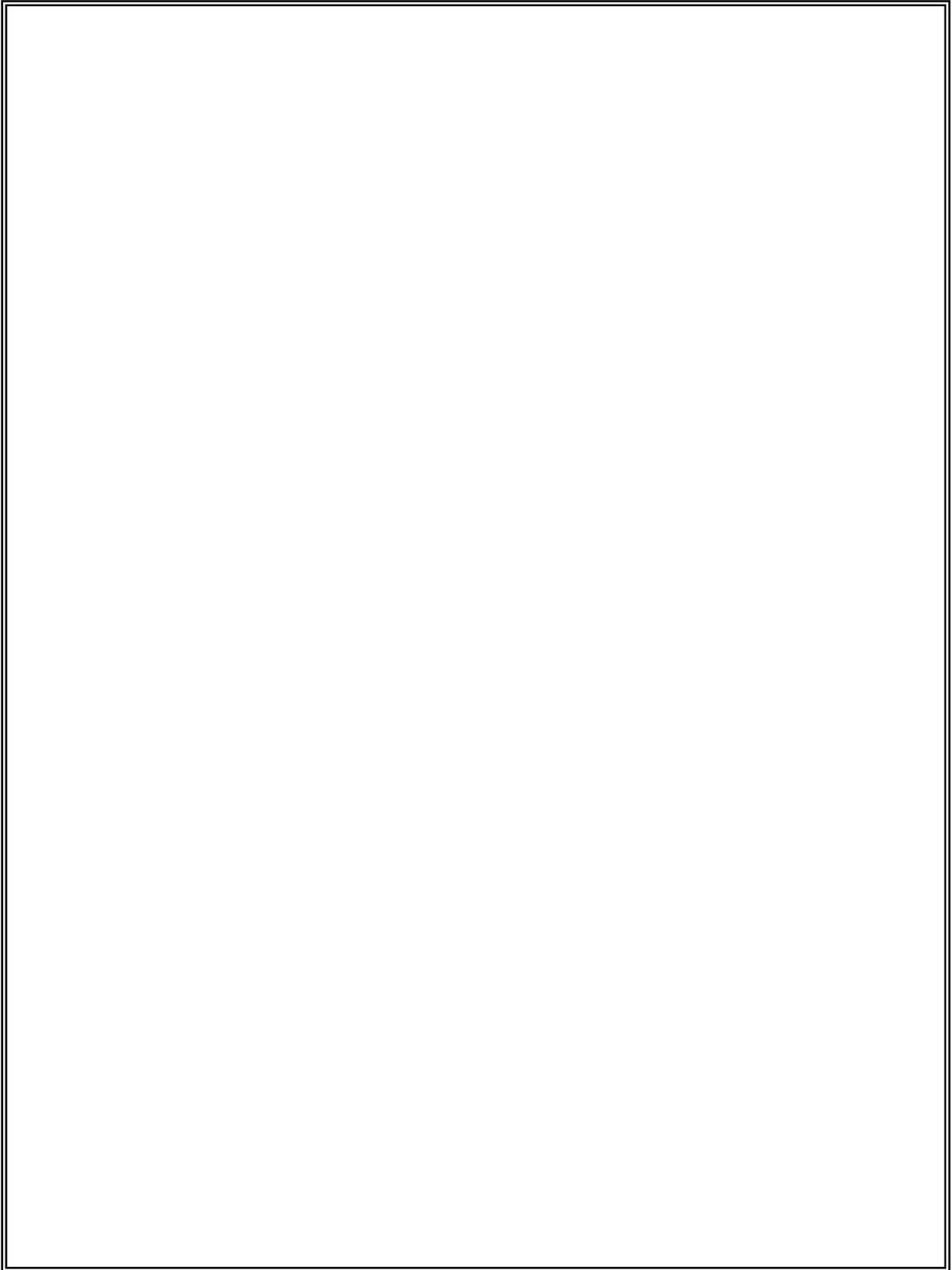
弊社 営業部
TEL 0774-33-5282
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

- FAXでお問い合わせいただく場合

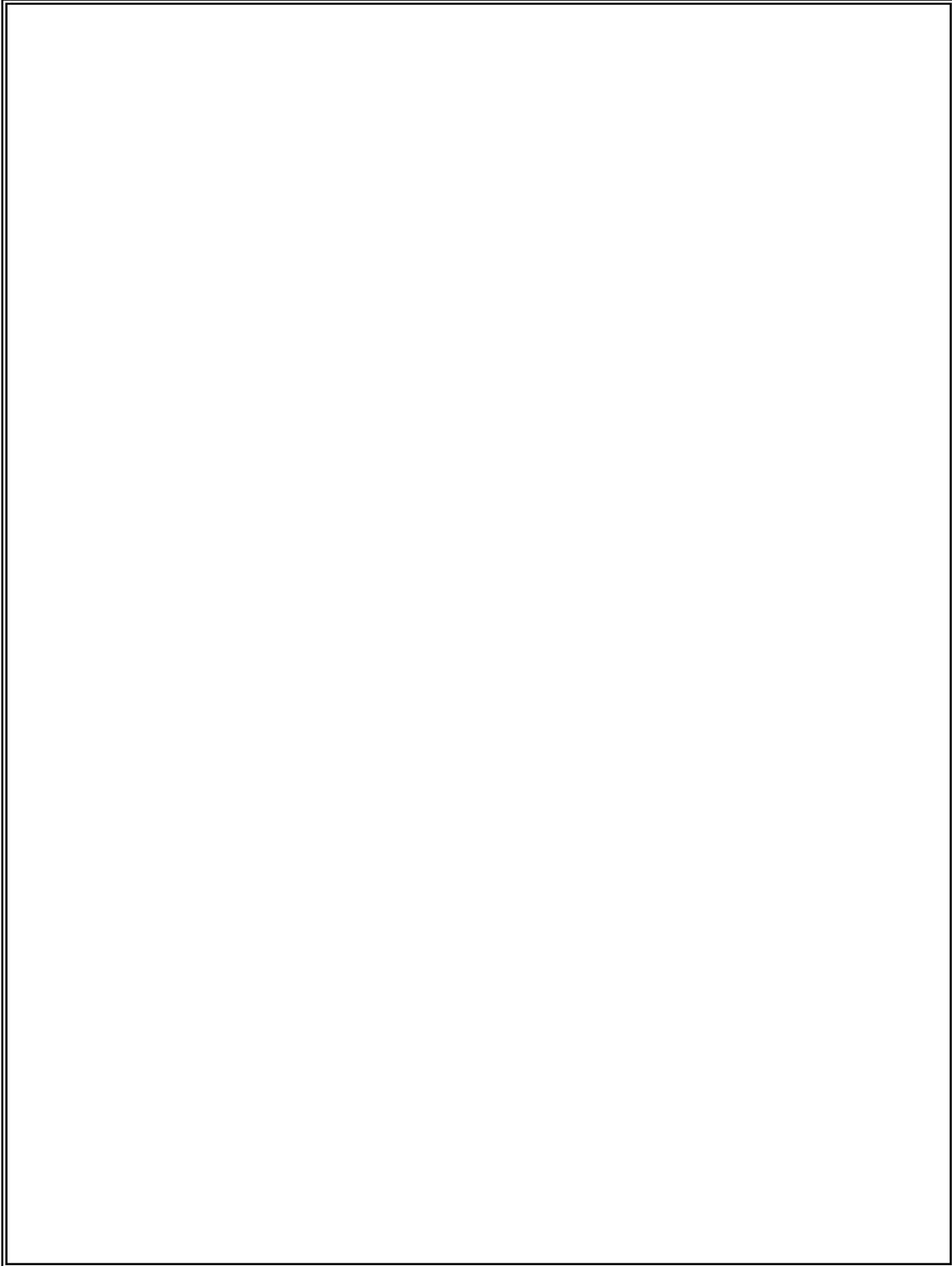
必要事項をご記入の上、お送りください。
ご記入内容を確認の上、ご回答申し上げます。
FAX 0774-33-5297

MEMO

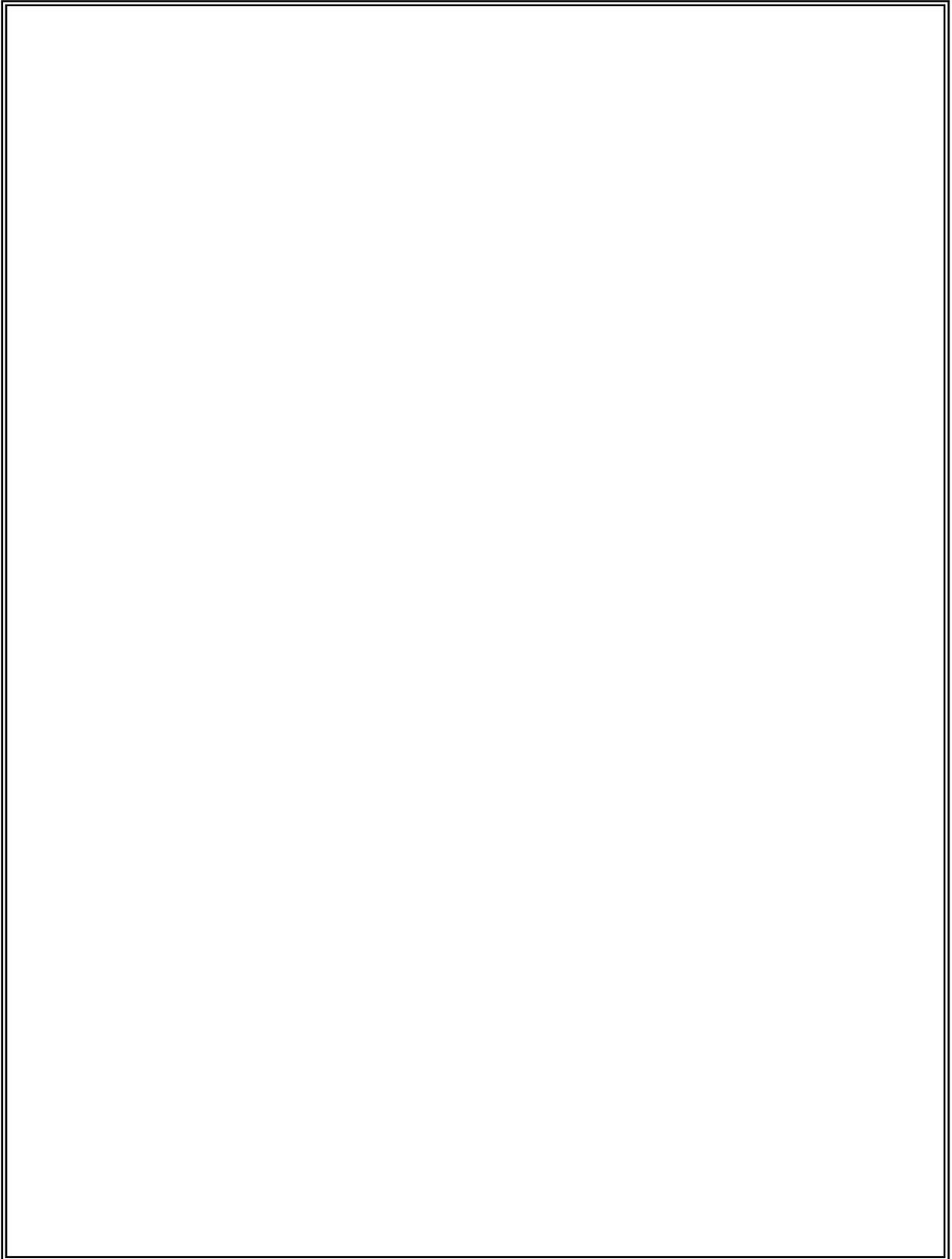
MEMO



MEMO



MEMO



保 証 書

製品名	スキャンコンバータ		
型番	SC-2000	製造番号	※1002ZE _ _ _
保証期間	ご購入日から1年間有効	ご購入日	年 月 日
	ご購入日が証明できるものを添付してください。添付がない場合は当社出荷日を保証期間の基準とさせていただきます。		
販売店様			
	ご連絡先		
お客様	お名前（会社名）		
	ご住所		
	ご連絡先		

※印の製造番号は本体裏面（リアパネル）の9桁の英数字で記載されています。

修理品送付先

株式会社ラウンド 製品修理センター 宛
〒611-0011
京都府宇治市五ヶ庄芝東 3-9
TEL:0774-33-5282

保証条項

- 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合には製品と保証書を添付して、(株)ラウンド製品修理センターへご送付ください。ご送付時の送料はご負担ください。
- 保証期間内でも以下のような場合は有料修理となります。
 - ・使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ・火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - ・ご購入後の輸送、移動時の落下、衝撃等お取扱いが不適当なため、生じた故障及び損傷。
 - ・(株)ラウンド製品修理センター以外で不当な改造、修理、調整、部品交換などをされた場合。
 - ・消耗品の交換。
 - ・保証書の紛失等により、ご購入日をご提示いただけなかった場合。
- 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきまして、当社はその責に任じません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

ROUND 株式会社ラウンド

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄芝東 3-9

電話 0774-33-5282

FAX 0774-33-5297

メール round@round.ne.jp

HP <http://www.round.ne.jp>

2012/12

ROUND